

中学部・学活・道徳・英語、協働学習、ハイブリッド学習 塩原小中学校との交流学習

オーストリア・ウィーン日本人国際学校

I 前提

学校環境

- » 校内 Wi-Fi 設置
- » 大型モニター
- » 教師用 PC
- » カメラ・マイク・スピーカーが一体型になったビデオ会議用機器

課題と目標

<目標>

- » 他国に住む同世代同士の交流を通して、お互いの地域や学校生活について知る。
- » 小規模校同士の利点をいかして一人一人が活躍できる場を設定し、校外へ発表することでそれが発信する力（コミュニケーション能力やプレゼン力）を伸ばせるような交流を目指す。
- » さらにいざれ帰国する児童生徒に向け、日本の学校生活や普段の様子に触れられる機会としたい。

2 実践の内容

活用した ICT ツール

ICT 機器	PC、大型モニター、カメラ・マイク・スピーカーが一体型になったビデオ会議用機器
ネットワーク	校内 Wi-Fi
使用アプリ	Zoom、Microsoft PowerPoint
その他	説明用など各单元に合わせたビデオ教材

具体的な活用方法

交流の準備を含め全 11 時間で実施した。

1.日本にいる同世代の生徒と交流しよう！（1時間目）

- » 交流事業について知る。
- » 相手の学校や地域（那須塩原）について、相手校の紹介ビデオを見て知る。

2.自分達のことを伝えよう！（2時間目）

- » 自己紹介の準備をする。
- » ウィーンや自分の学校についてクイズを考える。

3.オンラインで交流しよう！（3時間目）※図1、図2 …Zoom を使用した交流1回目

- » 互いの自己紹介&クイズを行う。
- » 互いについての質疑応答をする。

4.2回目の交流内容を考えよう！（4時間目）

- » 紹介内容を検討する。
- » 分担を決める。

5.ウィーンのことを伝えよう！（5～8時間目）

- » ウィーンの自然や建物、食べ物、日本との違いについて調べる。
- » インターネットなどで調べたことを、パワーポイントにまとめる。
- » 資料を準備する。
- » 原稿を作る。
- » 発表練習をする。



図1

6.オンラインで交流しよう！（9時間目）※図3 …Zoom を使用した交流2回目

- » ウィーン（自然、食べ物、建物、日本との違い）について紹介する。
- » 塩原について、日本の学校についての紹介を聞く。



図2

7.持続可能な開発目標 SDGsについて学ぼう！（10～11時間目）

- » SDGsについて調べる。
- » 今後の交流（意見交換）について知る。
- » 各目標について調べ、発表し合う。
- » 世界が抱える問題について知る。
- » 意見交換をするテーマを決める。



図3

8.SDGsに関するテーマで意見交換をしよう！（今後の展開について）

- » クラスでテーマについて話し合う。
- » 相手校へ自分達の話し合い動画を送る。
- » 相手校が同じテーマについて話し合った内容の動画を見て、様々な考えに触れる。
- » 相手校から送ってきたテーマについて話し合う。

3 成 果

ICTツールを活用したことできることになったこと

カメラ・マイク・スピーカーが一体型になったビデオ会議用機器を活用することで円滑に交流活動を実施することができた。※図4

※交流をする際におこりやすい以下の不都合が解消された。

1人1台端末を与え使用するとハウリングをおこす。

PCに内蔵されたマイクだけではこちらの音声が十分に拾えない。

内蔵のスピーカーでは交流相手校の児童生徒の声が聞き取りにくい。など



図4

児童生徒、教師、保護者の反応

- » 1人1人が役割を分担し、それぞれに活躍の場をもつことができた。
- » 回を重ねていくうちに、相手意識や伝えたいという気持が大きくなっていた。
- » 小規模校のため、限られた相手以外に対して発表活動を行ったことは貴重な経験となった。
- » 今年度は各中学校の中学校同士が交流したが、来年度以降は小学部も含めて学校全体で交流できるように現在準備を進めている。
- » オンラインでの交流から、オフラインでの交流が実現するとつながりをより深められると考えている。